

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	大和西高等学校	課程・学科 教育部門・ 学部	全日制普通科
-----	---------	----------------------	--------

1 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。
- 世界で活躍できる国際人の育成をめざして、コミュニケーションを重視した学習活動の充実や個別の知識・技能を活用する機会の創出に取り組む。また、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成をめざした不断の授業改善等、これからの時代に求められるグローバル人材の育成に向けた教育の充実に取り組む。
- 生徒の安全、安心の確保に努めるとともに、学校運営協議会制度の導入により、地域等との協働による、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりに取り組む。

2 学校教育目標

- 豊かな人間性と社会性を培い、主体的に物事を判断し、他者と協働して課題解決に取り組むことのできる人材の育成を目指す。
- 全世界の人との「相互理解」をキーワードに、他者と協調し、幅広く社会に貢献できるグローバル人材（自分の考えを自分の言葉で説明し、話し合い、認め合うことができる人間）としての資質を養う。
- 「グローバル教育」「学力向上」「進路実現」を三つの柱として、思考力・判断力・表現力を育てるための不断の授業改善を行い、確かな学力の定着と向上を図る。

3 計画策定時点での課題

- グローバル教育を軸とした、本校の特徴的な取組を継承するための新しい学習指導要領に対応した、魅力ある教育課程の編成と実践。
- 社会構造の変化に伴う、学校教育に対する社会の要求の変化を念頭に、公立高校として、これからの社会を生きていくために生徒に身に付けさせたい力について共通理解を図り、推進していくための仕組みづくり。
- ICTを有効活用するための取組の継続に加え、生徒の考えようとする意欲、好奇心を高める「質の良い問い」を発信する授業づくりを目指し、不断の授業改善に全体で取り組む体制の構築。
- 上記3点を全体のコンセンサスを得ながら、バランスよく進めていくためのカリキュラム・マネジメント。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①グローバル人材としての資質の涵養 ②持続可能な教育課程の編成と実践 ③次世代の学校教育を視野にいたれた不断の授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ①本校の特徴であるグローバル教育を継続し、推進する。 ②カリキュラム委員会を中心に全職員で協議し、魅力ある教育課程の編成を行う。 ③教科の枠を超えた研究授業と研究協議を継続して実施し、生徒の意見をより具体的に反映できる仕組みをつくる。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①集中して授業に取り組むことができる学習環境の整備と学習習慣の確立 ②部活動や特別活動を通じた協調性及び人間性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業に臨むための基本的な姿勢を全体で確認し、生徒が集中できる授業実践に努める。また、学習（教室等）環境を向上するための試行・検証を繰り返し、課題解決に努める。 ②部活動や学校行事を通して、相互理解に努め、協働する力など、コミュニケーション能力の向上を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①自立した社会人となるための資質の育成 ②社会の趨勢を捉えた適切な進路指導と進路希望の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ①社会人として求められる資質やマナーについて生徒が主体的に考え、自ら実践するように継続的に指導する。 ②社会の動向についての情報収集、情報共有を行うための職員研修会を充実させ、成果を生徒や保護者に還元する仕組みを作る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ①地域等との連携事業を通じた共感能力や協調性の育成、及び社会の形成者としての自覚と奉仕の精神の涵養 ②地域と連動した防災体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の行事等への参加を継続し、様々な意見交換を行う中で、地域の期待と要望を傾聴しつつ、場面に応じた、適切な関りを維持する。 ②地域の防災訓練等への参加や連携を模索し、災害時の対応に備える体制をつくる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ①適切な業務分担と進捗管理 ②学校の課題に対する意識の共有と協働体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ①管理職が各職員の勤務状況に基づき、適切な業務配分を行う。併せて、互いに相談しやすい職場の雰囲気を醸成し、協働体制を構築する。 ②各グループリーダーやサブリーダーが、主体的に互いに相談しながら、年間計画に則った適切な業務の進捗管理を行う。

